

学校での「食育の取り組み」を紹介します

▶問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545



中学校での給食が始まって1年が経ちました。播磨町の小・中学校では、「食に関する指導の全体計画」を作成し、給食時間だけでなく学校教育活動全体を通して、食育を推進しています。

食育推進基本計画では、毎年6月を「食育月間」、毎月19日を「食育の日」、また、兵庫県でも毎年10月を「ひょうご食育月間」としています。学校では、実際にどのような取り組みをしているのか、その一部を紹介します。

中学校の取り組み

●お弁当を作ろう 学校給食では、栄養面のバランスがとれています。では、「毎日お弁当を持参する場合はどうだろうか?」というテーマを設定し、栄養バランスのよいお弁当作りの工夫などを考える学習に取り組みました。

●給食を取り入れた授業(家庭科) 教室に貼ってある献立表から、その日の給食に使われている食材を見つけ、「～には、どんな栄養素が含まれているかな?」「体には、どんな働きがあるかな?」など、食物の学習につなげていきました。

小学校の取り組み

●給食でチャレンジ
— 給食に出てくる野菜や果物をさわってみよう —
① さやえんどうのすじとりをしよう 普段は、調理員がしている「さやえんどうのすじとり」を、1・2年生と給食委員会の5・6年生が体験しました。翌日の給食の八宝菜に使用したところ、さやえんどうを探して食べたがる児童が増えました。

② ジューシーフルーツの皮でマーマレードを作ろう 給食で使う果物や野菜は、生ゴミ処理機に入れて肥料にも活用します。全校生が各自むいたジューシーフルーツの皮を5・6年生が薄く切って下ゆでし、後の調理は栄養教諭が行い、翌日の給食に手作りマーマレードを出しました。普段捨てる皮が、見事に变身しました。



●保護者向け食育研修会
— 播磨町の給食の現状と目指していること —
給食試食の後、栄養教諭から播磨町給食の推進についての説明や、健全で安全な「食」についての考え方・家庭における「食」がどうあるべきかなどの話を聞きました。

●PTA食育実習
— 非常食のあり方とそのより良い活用方法 —
東日本大震災での食をかんがみ、栄養士・保健師から「非常食のあり方」の話を聞き、その後、缶詰や乾物を使った、簡単で栄養バランスのとれた調理実習を行いました。

※播磨小学校の取り組みが、内閣府のHPに掲載されています。<http://www8.cao.go.jp/syokuiku/event/promotion/torikumi-h23.html>

「食育」とは?
○生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基礎となるもの
○様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

充実した遊びの中で 豊かな学びを!

播磨幼稚園

子どもたちは、様々な人とのかわりや遊びの中で多くのことを経験しています。本年度は、特に子どもにとつての主体的な活動である遊びに焦点をあて、充実した遊びが豊かな学びにつながっていくけるよう環境構成の工夫や個々に応じた援助に努めてきました。

- ◎主体的な遊びを通して
 - ・ 個々の興味関心を探りながら、環境を見直し工夫すること、やってみようとする気持ちが育ってきています
 - ・ 試したり、考えたり挑戦したりできる環境づくりや声かけをしていくことで、それぞれがめあてをもって最後まで取り組み、自信につながっています
- ◎自然とのふれあいを通して
 - ・ チャンスを逃さず、誘いかけて教師の感動を伝えたりしていくことで、豊かに感じることや不思議に思う気持ちなどが育ってきています
- ◎協同的な遊びを通して
 - ・ 様々な人とかかわる場を多くもつことで、一緒にする楽しさを感じられるようになってきました
 - ・ 考えを出し合ったり、力を合わせたりする場を大切にしながら支えていくことで、友達とやり遂げた喜びが感じられるようになってきました



遊びの中で、自分の思いを表現する楽しさやルールを守る大切さに気付く、人とかかわる力や相手を思いやる気持ち、意欲など、幼児期に育てたいいろいろな力が育ってきています。地域の皆さまには、これから子どもたちが自分の力を十分発揮しながら、毎日笑顔で過ごせますよう、見守り支えていただけたいと思います。よろしくお願いたします。

蓮池幼稚園

育てよう 元気な体 はずむ心 遊びを通して、のびのびと体を動かす 楽しさを感じる子ども

幼児が心をはずませ、体を存分に動かして遊ぶことができる、健康な体と心の育成を目指し取り組んできました。家庭との連携を大切に、基本的な生活習慣の定着も図り、幼児が遊びや生活の中で楽しみながら多様な動きの経験ができるよう努めてきました。

- ◎心が動き、体が動く「遊び」
 - ・ 外での遊びの魅力を感じ、少しの間でも進んで外に出ていろいろな環境の中で遊ぶようになりました
 - ・ 幼児が自分自身の個性や能力を発揮し、様々な動きをしながら遊びを工夫して、遊び込む姿が見られるようになりました
- ◎ともに育ち合う「啓発スローガン」
 - ・ 全職員で共通理解を図り、幼児に理解できる体を動かす楽しさを目指す年間のスローガンを作成し、指導計画の中に取り入れ保育実践をすすめてきました
 - ・ 掲示板活用でスローガンや幼児の遊びの姿を知らせることで、一緒に体を動かす楽しさにつながりました
- ◎運動遊びがはくむ「豊かな心」
 - ・ いつでも遊べるように運動用具や遊具を設定したことで、幼児が互いに刺激を受けながら、めあてや意欲をもって繰り返し遊ぶ姿が見られるようになってきました
 - ・ 友達とかかわりながら、ルール・順番などを決め協同性が育ち、また、幼児自身が安全・危険性を判断して遊ぶ機会につながりました



今後、この豊かに学び、いきいき活動する子どもたちのあふれる笑顔を目指し努めていきたいと思います。

播磨西幼稚園

育ち合う 豊かな心 元気な体 一人ひとりのかわりの中で自分を発揮できる子を目指して

本園では、様々な人とのかわりの中で、自分の思いや考えを素直に伝えたり受け入れられたりしながら、自分の力が十分発揮できる幼児の育成に努めてまいりました。

- ◎自分から進んであいさつできる子に
 - ・ 3歳児では、新しい環境や教師に慣れ心を開くと自分からあいさつする幼児が増えてきました
 - ・ 4歳児では、教師からの声かけであいさつする幼児が増えています
 - ・ 5歳児では、自分から進んであいさつをする幼児がほとんどで、友達同士あいさつをしている姿も見られます
- ◎友達や教師とのかわりの中で
 - ・ 安心して自分が出せる雰囲気づくりに努め、一人ひとりの幼児とゆったりとかかわることで、人に対する信頼感が育ち安定して生活しています
 - ・ 自分の思いや考えを言葉で表現したり、相手の考えを受け入れたり違いに気付いたりする事の大切さを知らせていくことで、互いの考えを認め合ったり言葉を使って自分を表現しようとする姿が見られるようになりまし



今後、家庭や地域の皆さまとの連携を大切に、心豊かで元気な体の幼児の育成を目指し努力してまいります。地域の皆さまのご協力をよろしくお願いたします。

高等部1年 校内実習



▲ボールペンの分解・組立に挑戦!

東はりま特別支援学校 高等部1年

11月28日から5日間、校内実習を行いました。1日60分ずつ3コマの作業に取り組み、スプーン開封結束、銅線はずし、ボルト・ナット締め、ボールペンの分解・組立に挑戦しました。

初めは緊張の中、要領が分からず、キョロキョロしたりボーっとしたり、なかなかスムーズに作業が進みませんでした。しかし、回を重ねるにつれ集中力も増して、作業量も日ごとに増え充実感一杯の実習となりました。何より、みんなの真剣に取り組む姿がとても印象的でした。



平成24年度播磨南中学校 生徒会出発進行!



▲運営方針などを考えています

播磨南中学校

2学期末には生徒会長・副会長が、3学期初めに生徒会役員(生徒会執行部)が選出され新年度(平成24年度)に向けて新しい生徒会がスタートしました。

これから1年間の運営方針やキャッチフレーズを考えている最中です。活動時間が限られている状況の中で、3月に行われる「3年生を送る会」の計画と運営方法についてや、4月になってからの「対面式(新入生歓迎会)」のための「学校紹介」や恒例の「部活紹介」などの話し合いを重ねているところです。

『地域から愛される播磨南中』を目指して毎日取り組んでいます。

「楽しい給食試食会」



▲蓮池幼稚園・保育園の子どもたちと

蓮池小学校 5年生

「これくらいでいい? 食べられる?」

蓮池幼稚園・保育園の年長さんを招いての給食試食会。いつもは元気いっぱい5年生も、優しいお兄さん、お姉さんの顔で接していました。

みなんでおいしい給食を食べた後は、楽しい昼休み。最初は緊張していた子どもたちもこの頃になるとすっかり仲良くなって、一緒にサッカーをしたり、おにごっこをしたりして思い思いに楽しい時間を過ごしました。

4月からは蓮池小学校の1年生と6年生。春にはまた素敵な出会いが待っています。



只今、力の充電中!



▲「西っ子ランランタイム」は延期になったのですが...

播磨西小学校 3年生

1月16日、26日の「ランランタイム記録会」を目指し、自分との戦いであるランランタイムが始まりました。走ることに親しむと共に、今の自分の記録を伸ばすことを目標に、冷たい北風の中を走ります。体育の時間ももちろん、業間だけでなく、朝の業前の時間にもランランタイムを設定し、力をつけることになりました。3年生は6分間走です。ランランタイムを待ちわびて、時間前から運動場を走っている子ども、目標を胸に秘め黙々と走り続ける子ども、走った周とコーン数を楽しみながらカードに記入する子ども...あいにく、全校的な風邪・インフルエンザによる欠席者の急増の為、全校一斉の記録会ではなく、学年別・学級別に形を変えることになりましたが、今までの苦しい中で頑張りが、きっと、今の自分の力を大きなものにしてくれることでしょう。只今、力の充電中!

環境体験学習



▲夏山で季節を実感

播磨南小学校 3年生

「おー、これはニホンアカガエルやな」子どもがつかまえてきたカエルをみて、ポランティアの先生が感心しています。

山の様子は、夏と全く違っていました。緑だったアメリカフウは真っ赤に色づき、やはり真っ赤なマユタテアカネが飛んでいます。草むらはススキ畑。そして、ナデシコ、クズ、ハギ。次々と秋の七草に出合いました。

11月15日、4カ月ぶりの三木山森林公園での環境体験活動。紅葉や木の実で秋を感じ、池のまわりでは子どもたちが虫や魚をつかまえています。

夏の日ざしの中、網を持って追いかけたオニヤンマ、シュークリームみたいな感触で、さわっていたらオタマジャクシが生まれたモリアオガエルとは、結局出合うことはできませんでしたが、季節の移り変わりを実感できるよい体験になりました。

4月から一緒に遊ぼうね!



▲一緒に遊ぼう

播磨西幼稚園

今日は新入園児1日入園の日。「早く来ないかなあ?」子どもたちは一緒に遊ぶのを楽しみに待っています。子どもたちが「おはよう、遊ぼう」「ブロックや電車で遊ぶ?」などと優しく話しかけると、新しいお友達はうれしそうに遊びだしました。「次は、ブランコする? 砂場でままごとでもできるよ」と誘い、靴を履くのを手伝ったり、遊ぶのをそばで見守ったりしています。そして、新しいお友達が泣くと「泣かんとき、ウサギ見に行こう」と慰める姿も見られました。新しいお友達を楽しませようとする子どもたちの成長も見えたうれしい日になりました。新しいお友達、4月からまた一緒に遊ぼうね。幼稚園は楽しいよ!



押してあげようね!